

# 9. 取扱説明書

## 安全上のご注意

この機器を安全に使用していただくために、下記のことを必ずお守りください。これらの注意事項は安全に関する重要な内容です。表示と意味は下記の通りです。

表示	意味
	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が生じてしまう可能性があります。
	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性があります。
	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみが発生する可能性があります。

### 上記に述べる傷害、物的損害とはそれぞれ次のようなものをいいます。

- 火災：治療入院や長期の通院を要さない、けが、やけど(高温・低温)、感電などをさします。  
 ● 物的損害：家財、家財および家具、ベットのかわる部大損害をさします。
- 総表示については次のような意味があります。
- 一般的な危険警告注意
  - 火災注意
  - 火災禁止
  - 一般的な禁止
  - 燃えるな
  - 燃え手禁止
  - 分解禁止
  - 必ず行うこと
  - 電源プラグをコンセントから抜く
  - 必ずアース線を接続せよ

**屋内設置禁止**

この機器は屋外用です。屋内や浴室内に設置して使用しないでください。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になり大変危険です。

**機器の異常に気付いたら**

①給湯栓をすべて閉める。  
 ②ガス栓を閉める。  
 ●使用中に異常な燃焼・臭気(ガスのおい)・異常音を感じたときは、必ずすぐに運転を停止してガスを閉め、もよりのガス会社にご連絡ください。  
 ●地震や火災発生時もお互いに運転を停止してください。

## 警告

**工事は資格必要**

この機器の設置・移動および付帯工事には専門の資格・技術が必要で、工事は必ずお買い上げの販売店またはもよりのガス会社に依頼してください。

**囲い設置禁止**

この機器は屋外用ですので、増設などによって屋内状態にしないでください。また、波板などによって囲いをするのもおやめください。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。

**機器の銘板を確認**

必ず行う

※この機器の銘板はフロントパネルのここに張ってあります。

使用する機器が使用するガスの種類(ガスグループ)および使用する電源(AC100V・50/60Hz共用)に適合していることを機器の銘板で確認してください。表示以外のガスを使用すると不完全燃焼や爆発・点火の原因となります。

※下図は銘板の一例です。

この機器はAC100V(50/60Hz)用です。AC100V以外の電源電圧では使用できません。

**ガス漏れに気付いたら下記行為は厳禁**

- 火を使ったり電源プラグの抜き差し禁止
- 電気器具(換気扇などの)のスイッチの入れ、切り禁止
- ガスのおいにおいする場所での電話の使用禁止

ガス漏れに気付いたときは、ガス会社の係員による処置が終わるまで上記のことを行わないこと。炎や火花で引火して爆発事故を起こすことがあります。

# 安全上のご注意

## △注意

### 火災予防のために必ず守ること

- 機器周辺の物とは紙に右図の距離距離を確保すること。
- 排気口、排気トランプが汚れた物などでおおわれぬようにすること。
- 機器周辺に紙や木材などの燃えやすいものを置かないこと。
- 機器周辺にガソリン、ペンシンなどの引火性危険物を置いたり、使用したりしないこと。
- 機器周辺にスプレースプレーを置いたり、使用したりしないこと。
- 火をつけたまま就寝や外出しないこと。

電源プラグの刃および刃の取付面にほこりや付着している場合は、乾いた布で拭いてください。

不慮の事故防止のため、長時間使用しないときはガス栓を閉めてください。

### 用途について

- 給湯・シャワー・ふるのおいたき・暖房以外の用途には使用しないでください。恐れぬ事故や故障の原因となります。
- 機器内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いず雑水としてお使いください。

### やけど防止のために必ず守ること

- お湯を止めた後に再使用するときや、お湯の量を少し少なくしたとき、あるいは万一機器の故障の際には、一瞬熱いお湯が出る場合があります。やけどの危険性がありますので、出始めのお湯は手で体にかき回さないでください。
- シャワー（上がり湯）を使う場合、最初に熱いお湯が出るため、シャワーはいきなり頭や体にかかず、お湯を十分に確認してから行ってください。
- シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を監視しないでください。突然熱湯や冷水が出て、熱湯でやけどをしたり冷水でびしょ濡りする場合があります。
- パネルヒーターの表面はさわらないでください。やけどの危険性があります。特に小さなお子様のいる家庭では注意が必要です。

使用中や使用直後は排気口・排気トランプやその周辺は高温になっています。やけど防止のため、絶対に手を触れないでください。

おいたき中やおいたき後は浴槽水の上部と下部では相当の温度差があり、やけどのおそれがあります。入浴時には十分にかきまぜてください。

## △注意

### 機器の破損防止のため必ず行うこと

- 器による一時的な過電流で電子部品が破損することがあります。雷が発生したときは、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 冬期に水道水が凍結するおそれがある日は、下記のようにわの方法で凍結予防を行ってください。  
 (115、116ページ参照)
  - 1 凍結予防にークと自動ポンプ運転による方法
  - 2 給湯器から水を流す方法
  - 3 水抜きによる方法

### 感電防止のために

感電のおそれがありますので、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。

### 床暖房の破損防止のために

- 床暖房の上に電気カーペットをひかないでください。床材の割れ、そり、隙間の原因となります。
- カーペットが床暖房の上に熱くなるものを落としたり、刺したりしないでください。湯水パイプが破損します。

### ゆらぎのシャワー使用上の注意

- 次の方はゆらぎのシャワーを使用しないでください。体調をくずすことがあります。
- ①妊娠中の方
  - ②医者から入浴を禁じられている方
  - ③お酒を飲んだあとや薬を飲まれた方
  - ④高血圧の方
  - ⑤体力の弱い方
  - ⑥体調の悪い方

### 低温やけど防止のために

- 床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間座ったり寝そべったりしないでください。低温やけどを起す心配があります。
- 特に次のような方が使用する場合は、周りの人が注意してあげることが必要です。
- ①乳幼児、高齢者、病人など自分の意志で体を動かさない方
  - ②疲労の多いときや深酒をしたとき
  - ③皮膚の弱い方

# 安全上のご注意

## お願い

### 機器の設置状態についての確認

- ① 機器は傾いて設置されていませんか？
- ② 冷・暖房機や換気扇の吸出し口や吸い込み口付近は塞いでありますか？ 正常な放熱の妨げになることがあります。
- ③ 壁の下など落下物の危険はありませんか？
- ④ メンテナンスができませんか？
- ⑤ 排気口への積雪や、屋根から落ちた雪で給・排気口が閉塞されることはありませんか？ 不完全燃焼の原因になります。

以上の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店または施工店に連絡し、設置場所を変更してください。

この機器は一般家庭用です。業務用として多頻度・長時間のご使用は、機器の寿命を著しく縮めることになりまますのでご承知おきください。

この機器は太陽熱温水器と接続できません。

別売部品はこの機器用のもの以外は使用しないでください。事故や故障の原因となります。

### リモコンの取り扱いについて

リモコンは子供がイタズラしないようご注意ください。思わぬ事故や故障の原因となります。

浴室リモコンは防水タイプですが、浴室に水をかけないでください。また、台所および増設リモコンは防水タイプではありませんので水をかけないようにしてください。故障の原因となります。

リモコンのお手入れにベンジンや油類系の洗剤を使用しないでください。変色や変形することがあります。

### 機器やリモコンの分解は禁止

サービスマン以外の方は機器のフロントカバーをはずしたり、分解しないでください。また、リモコンも分解しないでください。事故や故障の原因となります。

### 電源ケーブルの取り扱いについて

電源ケーブルを引っぱってプラグを抜かないでください。ケーブルが断線して発熱・発火の原因となります。

### 入浴剤などについて

硫黄・酸・アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、熱交換器が腐食する原因となるものがありますので入浴剤のご注意書を十分ご参照ください。

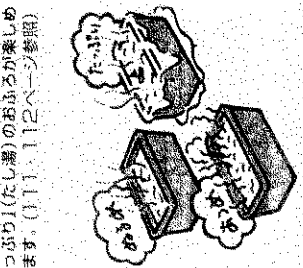
泡の出る入浴剤は使用しないでください。使用した場合、循環不良となりお風呂蒸かしかげできません。

塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤・消臭剤または塩などが、機器やガス管などにかかるといった場合はすぐに十分な水洗いをしてください。思わぬ事故や故障の原因となります。

給水配管が新しい場合や水質によっては、銅イオンがわずかにお湯の中に溶出し、黄色の化合物が生成され、浴槽やタオルなどが青くみえることがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤で洗いますぎをよくすることにより、黄色にくくなります。

浴槽の循環アダプターをタオルなどでふさがれないでください。ふさがると循環不良となり、お風呂蒸かしかげできません。

# 機能と特長

<p>給湯も暖房もお風呂蒸かしも一台でOKです。</p>  <p>同時暖房もOK!!</p>	<p>スイッチ ボンでお風呂蒸かしができて、お風呂が蒸かるとプザーでお知らせします。(107ページ参照)</p>  <p>プザー ポン!</p>	<p>お好きな時刻にお風呂が蒸かせる(または蒸かし上げておくことができます)予約運転ができます。(110ページ参照) ※台所リモコン設置時のみ</p>  <p>予約運転</p>
<p>お好みに合わせて「おいだせ」や「ぬるめ」(ぬる湯)、「たせ」や「たしめ」(たし湯)のお風呂が楽しめます。(111・112ページ参照)</p>  <p>おいだせ たしめ</p>	<p>湯温と湯量の見はり機器におまかせ。(自動運転時) ※湯量については全自動タイプのみ</p>  <p>おまかせ</p>	<p>お湯の断続使用での湯温安定機能(Q機能)搭載により湯温の安定性を向上させました。(当社比)</p>  <p>お湯安定機能</p>
<p>「ゆらぎのシャワー」で心と体のリフレッシュ!! (114ページ参照)</p>  <p>ゆらぎのシャワー</p>	<p>リモコンにはプザーが付いていますので、お風呂の蒸き上げ完了のお知らせや、浴室から台所などへの呼び出しができます。 ※呼び出しプザーは台所リモコン設置時のみ</p>  <p>プザー</p>	<p>■リモコンの表示画面で、給湯・お風呂の湯温や時刻など一目で分かります。(時刻は台所リモコン設置時のみ) ■お風呂のお湯の量は浴室リモコンで12段階に設定できます。(109ページ参照) ■冬期、気温が下がると自動的に作動し、凍結を予防するヒータが組み込まれています。(115ページ参照)</p>

# 各部のなまえとはたらき (浴室リモコン)

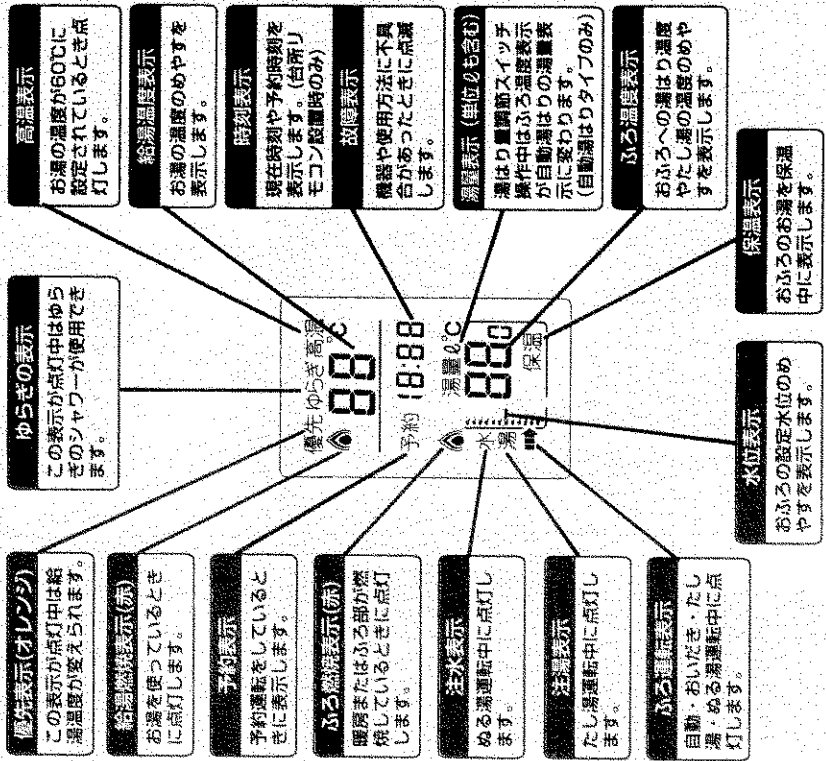
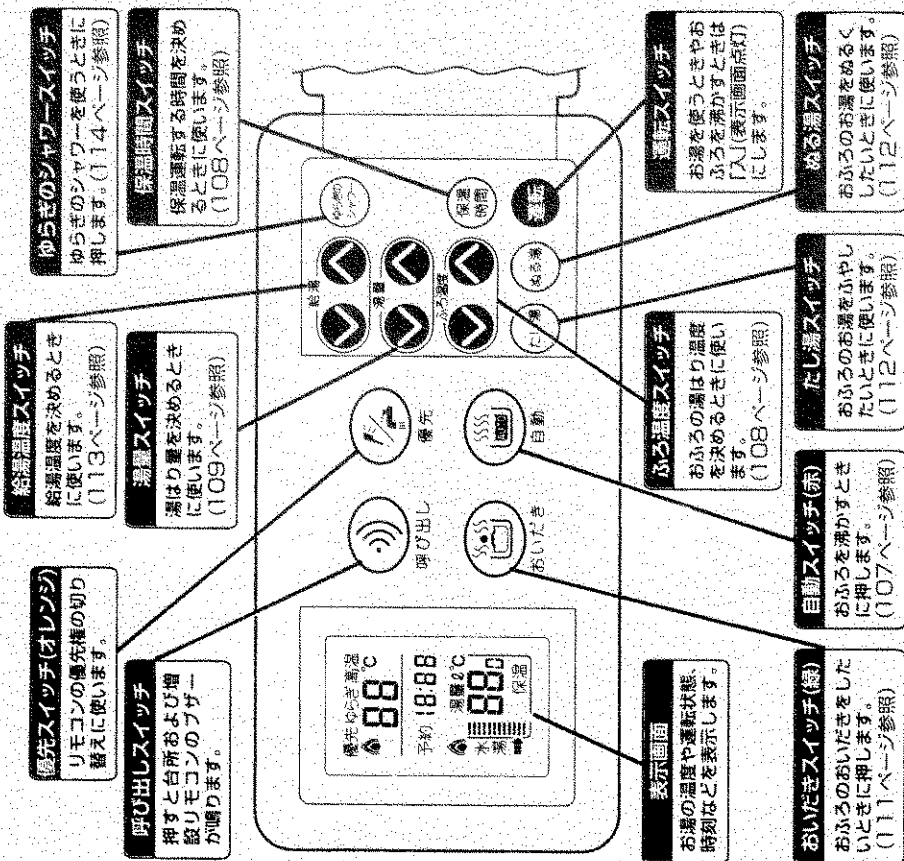
## ■浴室リモコン(BC-60)

●浴室に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音がします。また、呼び出しスイッチを押すと台所および増設リモコンのブザーが鳴り、台所などが鳴り、台所などにいる人を呼び出すこともできます。

●スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しにくい場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確かめてください。  
●操作確認音およびお風呂への湯はり完了のお知らせは運転スイッチが「入」のときに運転スイッチが「入」の音を同時に3秒以上押すことにより消すこともできます。この設定は台所・増設リモコン別々にできます。もとに戻したいときはもう一度同じ操作をしてください。

## ■浴室リモコン表示画面のみかた

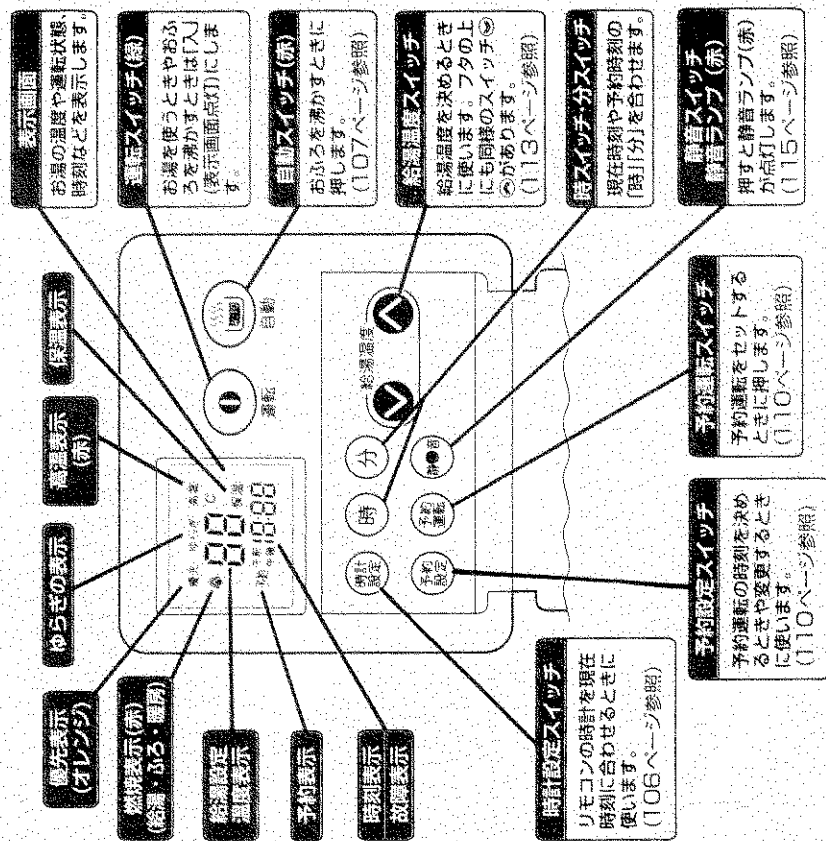
●スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。  
●点灯しない場合は、もう一度操作してください。  
●表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



# 各部のなまえとはたらき (台所・増設 リモコン)

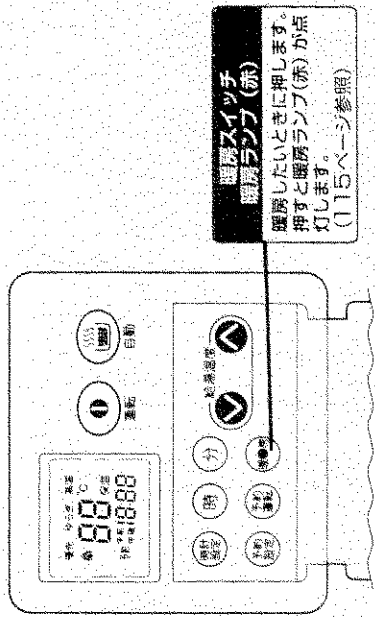
## ■台所リモコン(MC-61)…静音スイッチ付きタイプ

- 台所に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音がします。
- スイッチを操作した場合は、表示画面の急動作表示の点灯を確認してください。点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



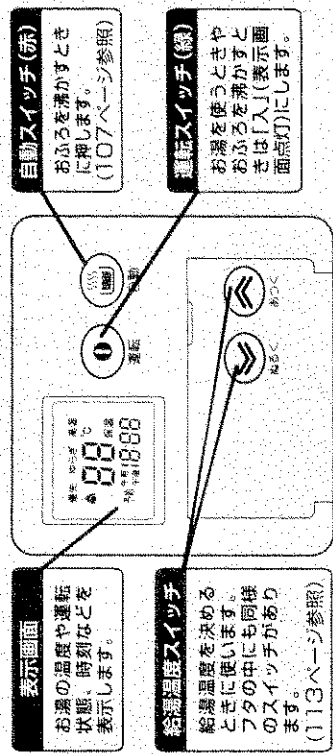
## (MC-62)…暖房スイッチ付きタイプ

- 暖房スイッチ以外のなまえとはたらきは、左ページのMC-61と同じです。左ページをご覧ください。



## ■増設リモコン(SC-60)

- 洗面所などにこのリモコンを取り付ければ手もとで給湯温度を変えられることができ、お風呂を消かすこともできる便利なリモコンです。
- スイッチを操作した場合は、操作確認音と表示画面の急動作表示の点灯を確認してください。点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



●スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確認してください。

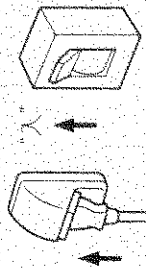
●2回を同時に3秒以上押すと「入」の音は2回鳴りますが、この音は「入」の音ではなく「入」の音です。この設定は浴室・台所・増設リモコン別々にできます。もとの戻したいときはもう一度同じ操作をしてください。



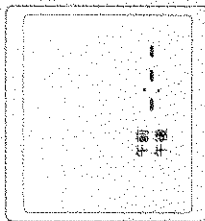
# 使用方法① 時計を合わせよう

台所リモコンで操作します。

## 1 電源プラグをコンセントに差します。

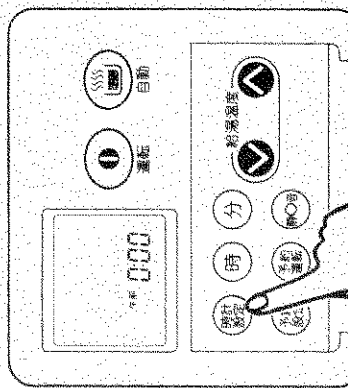


●電源プラグを差し込む（または分電盤の専用スイッチを「入」にする）と、下図の表示が点滅します。



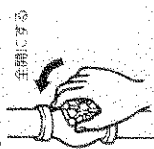
●浴室内リモコンのみ設置の場合は時刻は表示されません。（予約運転もできません）  
●現在時刻を合わせないと予約運転ができません。

## 2 台所リモコンのフタを開け、時計設定スイッチを押します。



●時計設定スイッチを押すと、表示画面の時刻表示が午前0:00となり点滅します。

1. 給水元栓を全開にします。



機器の下部

2. 給湯栓を開けて、水が流出することを確認してから閉めます。（すべての給湯栓について）



お湯の専用場所

3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。（分電盤の専用スイッチを「入」にしてください）



機器付近の壁

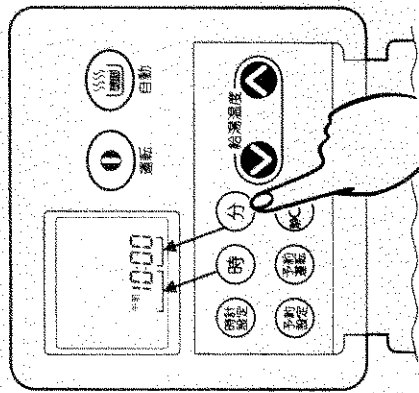
4. ガス栓を全開にします。



機器の下部

## はじめてお使いのときは、まず...

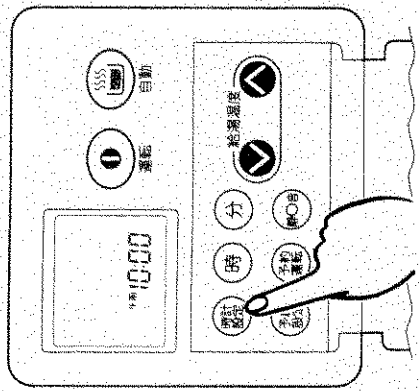
## 3 時・分スイッチで現在の時刻に合わせます。



●時・分スイッチを押しながら現在の時刻を画面に表示します。  
※押し続けると、連続的に数字が変わります。表示したい時刻の数字に近づいたら1回ずつ押すようにします。

●午前と午後を間違えないようにご注意ください。

## 4 時計設定スイッチを再度押します。



●時計設定スイッチを押しした瞬間に秒は0秒になりますので、時報などに合わせて押せばよい正確な時刻になります。  
●台所リモコンで時刻合わせが完了すると同時に、浴室リモコン・増設リモコンにも時刻が表示されます。



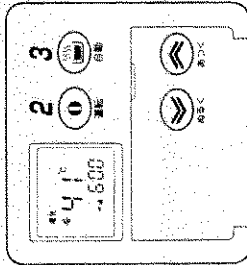
●電源プラグが抜けた場合や停電後の再通電時には---の表示に戻ります。  
再度時刻を合わせてください。

## 使用方法②

# お風呂を自動で沸かします

浴室・台所・増設リモコンのどれでも操作できます。

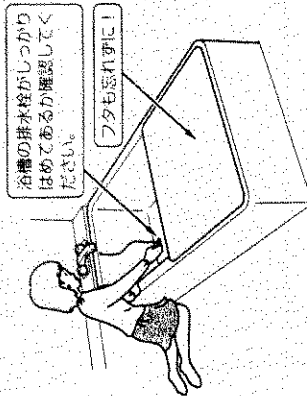
お風呂の温度や湯はり量・保温時間の調節方法は、108-109ページをご覧ください。



・保温の表示が出ている間にめくると、お風呂の温度表示が上がり、お風呂の温度を上げてくれます。  
 ・全自動タイプの機種の場合は、保温の表示が出ている間は水位が約4センチ下がるかと自動的にたし湯します。この間にお湯をもっと増やしたいときは、たし湯スイッチ（112ページ参照）を押してください。約20リットルのお湯をたします。

・自動湯はりタイプの機種で残り湯がある場合、残り湯で循環アダプターがかかってくれない場合、残り湯の分だけ水位が高くなり、お湯があふれる場合があります。  
 ・特に残り湯の温度が設定温度に近いときは、約16リットルだけ湯はりし、設定した量になりません。  
 ・自動スイッチの「入」「切」を何度も繰り返さないでください。お湯があふれることがあります。

## 1 浴槽に排水栓とフタをします。

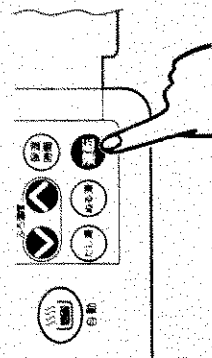


浴槽の排水栓がしっかりとめであるか確認してください。

フタも忘れずに！

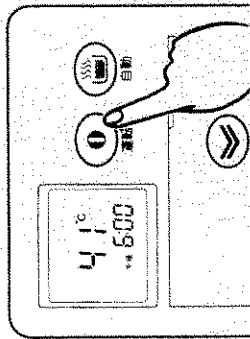
## 2 運転スイッチを押します。

浴室リモコンの場合



・表示画面に給湯・ふる設定温度などが点灯し、同時に台所リモコン・増設リモコンの運転スイッチが緑色に光ります。

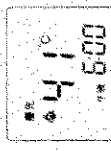
台所リモコンまたは増設リモコンの場合



・自動湯はり中や、自動たし湯中には、循環アダプターからお湯が出てくる場合があります。  
 ・湯はり運転中に給湯（シャワー）を使用すると湯はり中断され、給湯栓からはふる設定温度のお湯が出ます。  
 ・お湯を使い終わると湯はり運転を再開します。  
 ・浴槽の残り湯を排水するときは、自動スイッチ（赤）が点灯していることを確認してから行ってください。

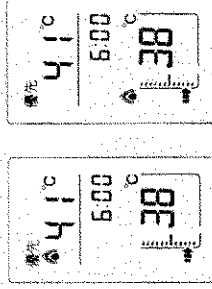
## 3 自動スイッチを押します。

（台所リモコン）  
（増設リモコン）



・自動スイッチが赤く光り、浴槽に湯はりを始めます。このとき表示画面には上図の表示が出ます。

（浴室リモコン）  
湯はり中 湯きあげ中



・お風呂が沸きあがるとリモコンのプザーで約5秒間お知らせします。また、表示画面には右図のような保温の表示が出ます。  
 ・保温の表示が出ている間は、お湯の温度が下がると自動的にたし湯します。全自動タイプはお湯が減ると自動的にたし湯します。この保温時間は108ページの保温時間スイッチで決めます。  
 （注）ふる設定温度などによって異なりますが、約20～40分ごとにふる温度をチェックして、設定温度より低くなければ自動的にたし湯します。

・お風呂が沸きあがるとリモコンのプザーで約5秒間お知らせします。また、表示画面には右図のような保温の表示が出ます。

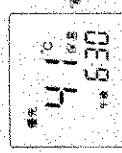
・保温の表示が出ている間は、お湯の温度が下がると自動的にたし湯します。全自動タイプはお湯が減ると自動的にたし湯します。この保温時間は108ページの保温時間スイッチで決めます。  
 （注）ふる設定温度などによって異なりますが、約20～40分ごとにふる温度をチェックして、設定温度より低くなければ自動的にたし湯します。

・保温時間が終了すると保温の表示が消え、自動スイッチ（赤）も消えます。保温を途中で止めたいときは、自動スイッチ（赤）を押して消灯させてください。

（浴室リモコン）

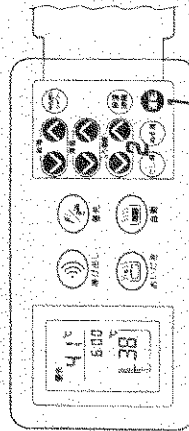


（台所リモコン）  
（増設リモコン）



## 使用方法③ 風呂温度の調節方法

浴室リモコンで操作します。



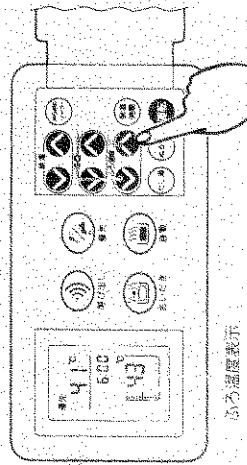
お風呂上げの際には、お風呂の沸きあがり温度を42℃に設定してあります。このままでもご使用いただけますが、お好みの温度に変えることができます。

### 1 表示画面の点灯を確かめます。

- 表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。



### 2 浴室リモコンのフタの中にある風呂温度調節スイッチを押します。



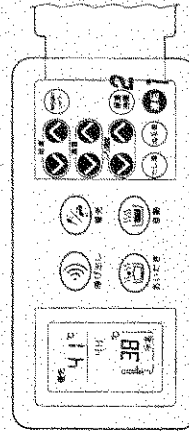
- 設定できる温度は37℃～48℃の12段階です。1℃ずつで一回スイッチを押すと1℃変わります。押し続けると、45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46℃以上にしたときはスイッチを一回ずつ押してください。  
※温度表示はゆやすすです。



- ★あとは自動スイッチを押すと、設定した温度に沸きあがり、自動的にストップします。

## 使用方法④ 保温時間の変更方法

浴室リモコンで操作します。



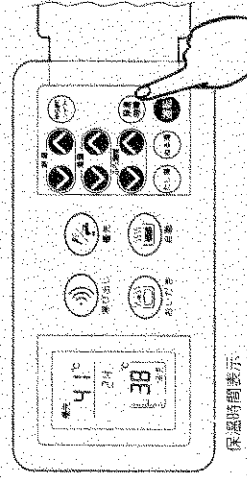
保温時間中は自動的に保温となし沸きを行います。(ただし沸きは全自動タイプのみ)

### 1 表示画面の点灯を確かめます。

- 表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。



### 2 浴室リモコンのフタの中にある保温時間スイッチを押します。

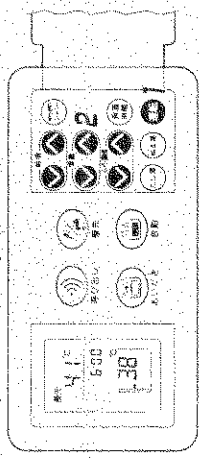


- 表示画面の時刻表示部に現在設定されている保温時間が約5秒間表示され、保温の表示が点滅します。はじめは4時間(表示は4H)となり、Hは時間の単位を表わします)に設定されています。
- 保温時間が表示されている間にもう一度保温時間スイッチを押すと、数字が4→2→1→0→8→6→4(単位はすべて時間です)の順に切り替わりますので、お好みの保温時間にしてください。上図は2時間に設定した場合の例です。
- 最後に保温時間スイッチを押してから約5秒で、表示が時刻表示に戻ります。これで設定完了です。



# 使用方法⑤ お風呂のお湯の量(水位)の調節方法

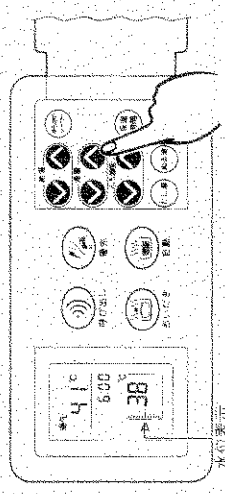
浴室リモコンで操作します。



運転スイッチが「入」のときにフタの中にある湯量調節スイッチを押します。

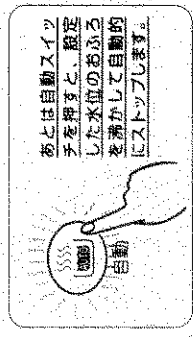
■全自動タイプと自動湯はりタイプでは表示が異なります。それぞれ次のようになります。

## 全自動タイプの場合

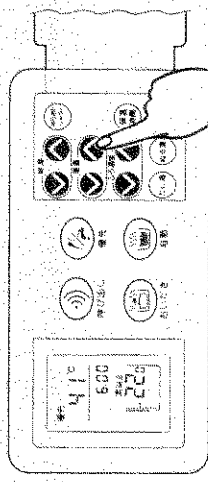


機器本体が洋式バス用の設定になっている場合、水位を下から6番目(赤い線)に設定すると循環アダプターから約17cm上まで満たされます。1目盛は約2cmです。

- 全自動タイプという湯量(水位)とは、循環アダプターから何cm上まで湯はりするかというめやすになります。
- はじめて電源を「入」にしたとき、水位表示は下から約25cmの位置まで湯はりして自動停止します。1.5人用浴槽では循環アダプターから約5cmの位置まで湯はりして自動停止します。
- 湯量調節スイッチの $\odot$ を押すたびに水位表示は1目盛上がり、 $\odot$ を押すたびに1目盛下がります。1目盛で水位が約3cm変わり、12段階に調節できます。最低設定で循環アダプターから約10cm上、最高で約43cm上になります。



## 自動湯はりタイプの場合



水位表示 湯量表示

- 自動湯はりタイプという湯量とは、自動スイッチを押したときに浴槽に湯はりするお湯の量を示します。
- はじめて電源を「入」にしたとき、湯量は200リットルになっています。このとき水位表示は下から6番目(赤い線)で示されます。
- 湯量調節スイッチの $\odot$ を押すたびに水位表示は1目盛ずつ上がり、湯量は右表のようになっています。ただし、子供のイタズラなどを防止するため、400リットルや90リットルに設定するときには $\odot$ スイッチを1秒以上押し続けなければ設定できないようになっています。また、400および90リットルに設定したとき、水位表示は表示されません。
- 湯量調節スイッチの $\odot$ を押すたびに水位表示は1目盛ずつ下がり、湯量は右表のようになっています。ただし80リットルや60リットルに設定するときには $\odot$ スイッチを1秒以上押し続けてください。
- 湯量調節スイッチを押してから約5秒間は、表示画面のふる設定温度が上図のような湯量表示に変わります。上図は湯量を220リットルに設定した場合の例です。湯量表示は約5秒たつと自動的にふる設定温度表示に戻ります。

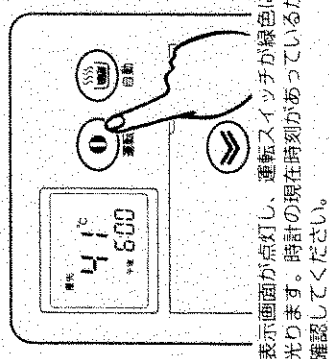
湯量(リットル)	水位表示
990	表示なし
400	表示なし
350	12
300	11
280	10
260	9
240	8
220	7
200	6
180	5
160	4
140	3
120	2
100	1
80	(1)
60	(1)

$\odot$ を押すか下げる  $\uparrow$   $\downarrow$  初期設定  $\odot$ を押すか下げる

# 使用方法⑥ お好きな時間にお風呂を沸かす「予約運転」のしかた

台所リモコンで操作します。

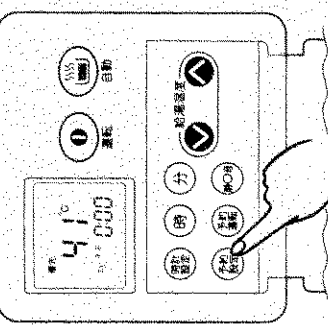
**1** 運転スイッチを押します。



表示画面が点灯し、運転スイッチが緑色に光ります。時計の現在時刻があらわになっています。確認してください。

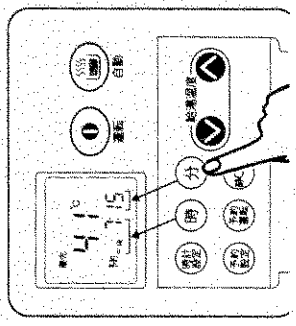
予約時間は運転スイッチを「切」にしても機器が記憶しています。毎日同じ時間にお風呂を沸かす(予約時間を変更しない)場合は、1、5、6の操作だけで結構です。また、予約時刻を確認したいときは、予約設定スイッチを押してください。約10秒間予約時刻を表示してから現在時刻に戻ります。

**2** 台所リモコンのフタの中にある予約設定スイッチを押します。(続いて約10秒以内に3の操作に移ってください)



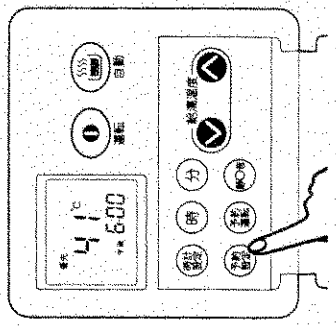
予約設定スイッチを押すと表示画面に「予約」の文字と「時00分」が点滅します。

**3** 時・分スイッチで湯はり完了時刻を設定します。



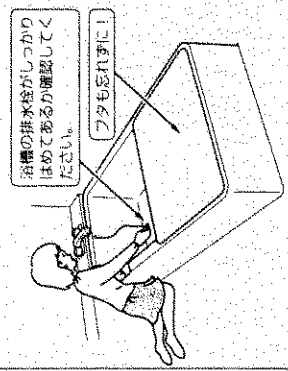
湯はり完了時刻を、時・分スイッチで表示画面に表示させます。(午前・午後に注意!)  
 ●押し続けると連続的に数字が変わります。  
 ●上図は午後7時15分に湯はり完了したい場合の例です。

**4** 再度、予約設定スイッチを押します。



●約3秒後に表示が現在時刻に戻り、「予約」の表示も消灯します。  
 ●予約設定スイッチを押さなかった場合は、約10秒後に自動的に設定して現在時刻の表示に変わります。

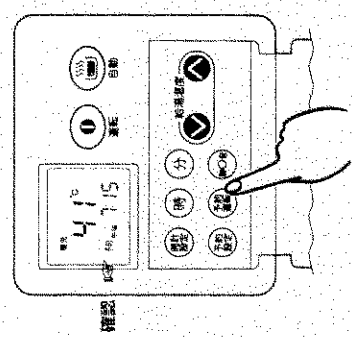
**5** 浴槽に排水栓とフタをします。



- 浴室リモコンのみ設置の場合は予約運転はできません。
- 予約運転の予約時刻は、現在時刻より30分以降に設定してください。30分以内になると、浴槽が大きいときや機器への給水圧力が低いときなどに、予約時刻になってもお風呂が沸かしが完了しないことがあります。
- 予約の変更はまず予約運転スイッチを押して予約を解除し、あとは2～6の手順で予約を直します。
- 予約運転を中止したいときは、もう一度予約運転スイッチを押してください。
- 予約の表示が点灯しているときは、運転スイッチを「切」にしないでください。予約がキャンセルされ、予約運転の機能はたからなくなります。



**6** 予約運転スイッチを押します。



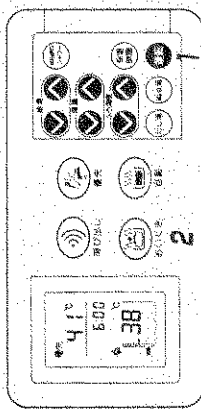
●表示画面に「予約」の表示と3で決めた時刻が表示され、約3秒後に現在時刻に戻ります。  
 ●これで予約ができました。あとは予約した時刻に沸きあがるよう、自動的に湯ほりをはじめます。  
 ※予約した時刻になると「予約」の表示が消え、約5秒間(ビビッと約5回)ブザーでお知らせします。同時に「保温」の表示が点灯して保温運転に入ります。



## 使用方法⑦

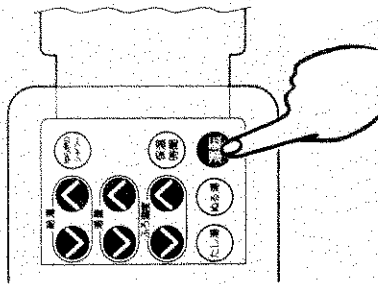
浴室リモコンで操作します。

# おいだししたいときは・・・少しあつめにしたときや昨日の残り湯を沸かしたいとき



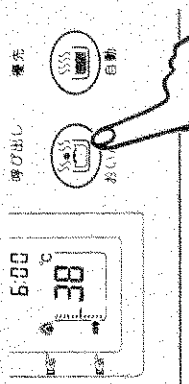
## 1 表示画面の点灯を確かめます。

- 表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのボタンにある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

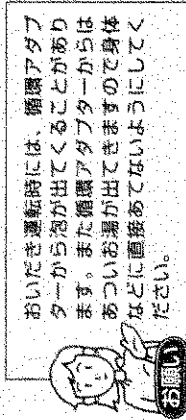


## 2 浴室リモコンのおいだしスイッチを押します。

### 浴槽にお湯または水が入っている場合



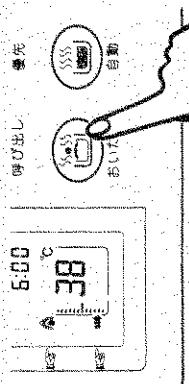
- ※上の<sup>①</sup>はおいだし運転中の表示です。
- おいだしスイッチが緑色に光り、約6分間おおいだしします。途中で止めたいときはもう一度おいだしスイッチを押してください。



おいだし運転時には、循環アタプターから泡が出てくる場合があります。また循環アタプターからはあつのお湯が出てきますので身体などに直接あてないようにしてください。

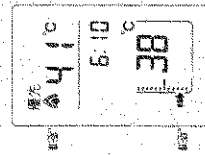
- 浴槽のお湯の温度がふる設定温度よりぬるい場合には、ふる設定温度まで沸きあげます。
- おいだしが終わるとおいだしスイッチ（緑）が消灯します。

### 浴槽にお湯または水が入っていない場合



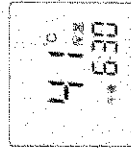
- ※上の<sup>①</sup>はおいだし運転中の表示です。
- おいだしスイッチが緑色に光り、浴槽に約6リットル湯はりします。全自動タイプの機器は、このあと自動運転に切り替わります。

※以下の動きは全自動タイプのみ

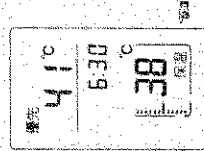


- お風呂が沸きあがると、約5秒間ブザーでお知らせし、保温の表示が出て保温運転に入ります。

(台所リモコン)  
(増設リモコン)



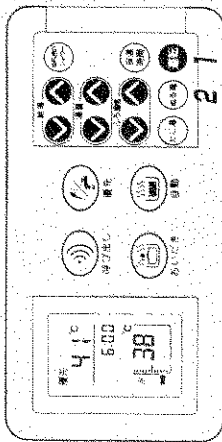
(浴室リモコン)



- ※上の<sup>②</sup>は湯はり運転中の表示です。
- 自動運転に切り替わるとおいだしスイッチ（緑）が消灯し、自動スイッチが赤く光ります。途中で止めたいときは自動スイッチを押してください。
- 保温運転が終了すると保温の表示が消え、自動スイッチ（赤）も消灯します。

## 使用方法⑧ お風呂をぬるくするには

浴室リモコンで操作します。

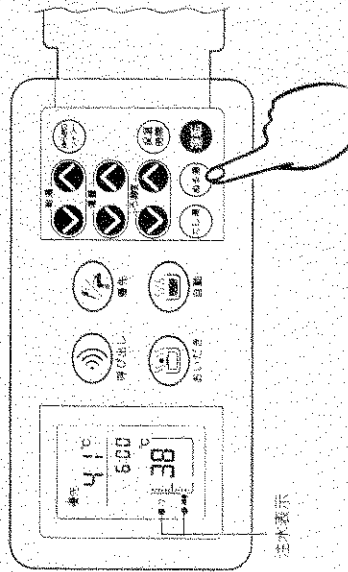


給湯(シャワー)使用中や「ゆらぎ」の表示(114ページ参照)点灯中は、ぬる湯運転は一時中断されます。  
 ・ぬる湯運転中に給湯(シャワー)を使用すると、ぬる湯運転は一時中断され、ぬる湯運転表示は停止状態になります。このとき給湯機からは水が出ることもあります。  
 ・ぬる湯運転中、循環アダプターから泡が出ることもあります。

### 1 表示画面の点灯を確かめます。

表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

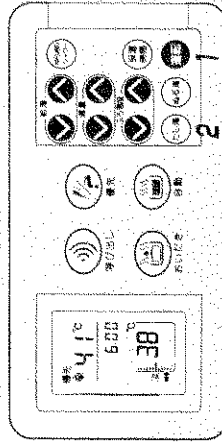
### 2 浴室リモコンのフタの中にあるぬる湯スイッチを押します。



- 浴槽に約10リットル注水します。(この機能は浴槽の残り湯の量に関係なく働きます)
- ぬる湯運転中は上図の注水表示が点灯します。
- 途中で止めたいときはもう一度ぬる湯スイッチを押します。ぬる湯運転表示が消えます。
- ぬる湯運転が終わると、注水表示が消えます。

## 使用方法⑨ お湯をふやしたいときは

浴室リモコンで操作します。

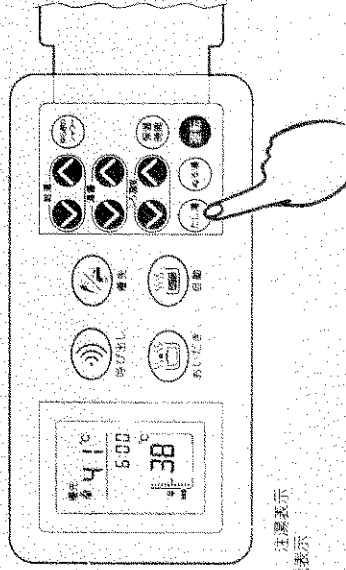


給湯(シャワー)使用中や「ゆらぎ」の表示(114ページ参照)点灯中は、たし湯運転は一時中断されます。  
 ・たし湯運転中に給湯(シャワー)を使用すると、たし湯運転は一時中断され、ぬる湯運転表示は停止状態になります。このとき給湯機からはぬる湯のお湯が出ることもあります。  
 ・たし湯運転中、循環アダプターから泡が出ることもあります。

### 1 表示画面の点灯を確かめます。

表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

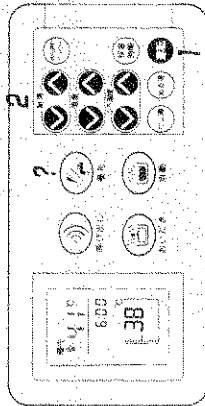
### 2 浴室リモコンのフタの中にあるたし湯スイッチを押します。



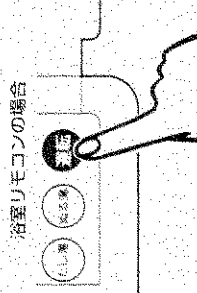
- 浴槽にぬる湯温度(上の例では約38℃)のお湯約20リットルを湯はりします。(この機能は浴槽の残り湯の量に関係なく働きます)
- たし湯運転中は上図の注湯表示と給湯燃焼表示が点灯します。
- 途中で止めたいときはもう一度たし湯スイッチを押します。たし湯機能が止まり、注湯表示と給湯燃焼表示が消えます。
- たし湯運転が終わると、注湯表示と給湯燃焼表示が消えます。

# 使用方法⑩ シャワー・台所・洗面 所などの給湯温度の調節

浴室・台所・増設リモコンの  
どれでも操作できます。

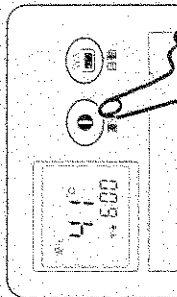


## 1 運転スイッチを押します。



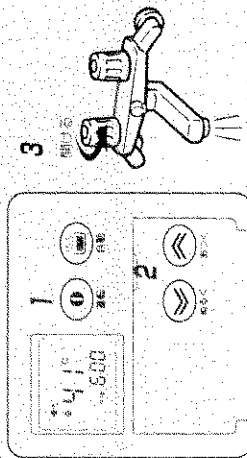
表示画面に給湯・風呂設定温度などが点灯し、同時に台所リモコン・増設リモコンの運転スイッチが緑色に光ります。

台所リモコン・増設リモコンの場合



運転スイッチを「入」にしたリモコンには優先表示(オレンジ)が点灯します。また浴室リモコンの場合は優先スイッチがオレンジ色に光ります。

シャワーを使用するときは、浴室リモコンの優先スイッチがオレンジ色に光っていることを確認してください。



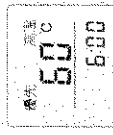
## 2 給湯温度スイッチで温度を決めます。



ぬるくなる あつくなる

37°Cから60°Cまで上記の12段階に設定でき、温度は表示画面に表示されます。下図は60°Cに設定した場合ですが、実際の温度は季節や配管の長さによって異なります。およそのめやすとお考えください。

浴室リモコン (台所リモコン)

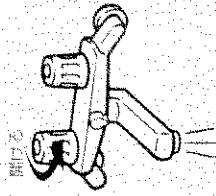


給湯設定温度が60°Cのときは、上図のような高温表示(赤)が点灯して注意を促します。

## △警告

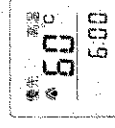
- 高温でお湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
- お風呂(特にシャワー)の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンの運転スイッチを「切」にしないでください。お湯が急に水になり、お湯が急に熱くなる場合があります。
- やけど防止のため、お風呂(特にシャワー)の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。シャワーの温度もこの給湯温度スイッチで決まります。

## 3 給湯栓を開けばお湯が出ます。



お湯を使っている間は、表示画面に下図のような燃焼表示が点灯します。

浴室リモコン (台所リモコン)

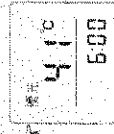


湯温を絞りすぎると(毎分約2リットル以下にする)とバーナーの火が消えます。

## ? 運転スイッチが「入」になっっているのに給湯温度が調節できない?

給湯温度が調節できるのは、表示画面に「優先」の表示が出ているリモコンだけです。これはやけどなどの事故を防ぐためです。

浴室リモコン (台所リモコン)



この優先権を切り替えるには浴室リモコンの優先スイッチを押します。優先スイッチを一回押すたびに、優先権が浴室リモコン・台所・増設リモコン・浴室リモコンと交互に切り替わります。

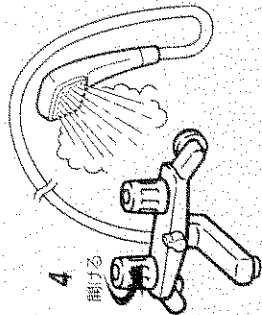
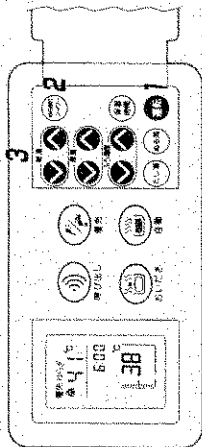
浴室リモコン優先のときは優先スイッチがオレンジ色に光ります。



- お風呂上げの際には、お湯の温度を42°Cに設定してあります。
- 湯量が給湯能力以上の場合は、リモコンの表示よりもぬるいお湯が出る場合がありますので、湯量を絞ってお使いください。
- 給湯温度が高い場合は、リモコンの給湯温度表示よりも熱いお湯が出る場合があります。

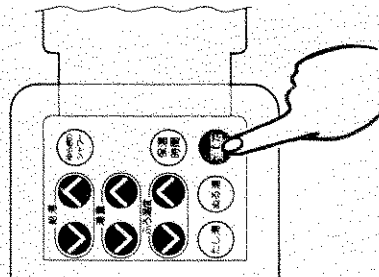
# 使用方法①① ゆらぎのシャワーの使い方

浴室リモコンで操作します。

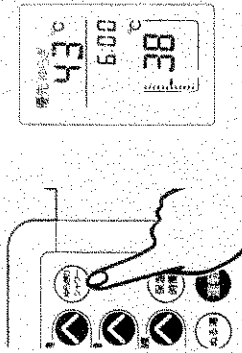


## 1 表示画面の点灯を確認します。

表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。



## 2 ゆらぎのシャワースイッチを押します。



表示画面にゆらぎの表示が出ます。この表示は約15分で自動的に消えます。

ゆらぎのシャワーは、リモコンで設定された給湯温度とそれより約10℃ゆるい温度間で、毎回湯ったバターンで湯温がゆらぎながら出できます。



湯あがりの体が暖まっているときにゆらぎのシャワーを使用すると、湯さめの防止・全身のマッサージとともに心身のリフレッシュにも効果があります。さらに、朝のめざまし促進にも有効です。

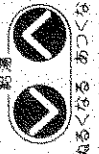
### 警告

- 高温で給湯を使用した後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
- やけど防止のため、お風呂(特にシャワー)の使用中は、絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。
- 下記の方はゆらぎのシャワーを使用すると体調をくずすことがあります。
  - ・妊婦中の方
  - ・医師から入浴を禁じられている方
  - ・お酒を飲んだあとや深酒をされた方
  - ・高血圧の方/体力の弱っている方/体調の悪い方

### 注意

- 給湯温度が高い場合や、シャワー流水量が少ない場合、またサーモ付混合水栓などの付いたシャワーでは快適なゆらぎのシャワーの効果を得られないことがあります。
- サーマー付混合水栓の場合は、サーモスタットを高温設定にして水を混ぜずにお使いください。
- なお、やけど防止のため使用後はもとの設定に戻しておいてください。

## 3 給湯温度スイッチでシャワーの温度を決めます。



ぬるくなる・あつくなる  
設定できる温度は39℃~44℃の段階です。

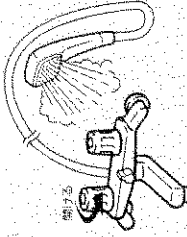
ゆらぎのシャワー温度

39 40 41 42 43 44

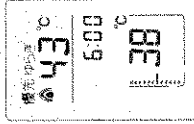
- 給湯設定温度が上記以外のときにゆらぎのシャワースイッチを押すと、設定温度が37℃・38℃のときには39℃・45℃以上のときに44℃のゆらぎのシャワーになります。

- ゆらぎのシャワー使用中に他の給湯栓でお湯を使ったり、ゆらぎのシャワーの温度が変化しながら出てきます。
- ゆらぎのシャワー使用中に浴室リモコンの優先スイッチを押すと、優先権が浴室お風呂リモコンに移り、給湯設定温度も浴室お風呂リモコンで設定されていた温度に戻りますので、ゆらぎのシャワー使用中は優先スイッチを押さないでください。

## 4 シャワー栓を開けばゆらぎのシャワーが楽しめます。



このとき表示画面には下図のような給湯燃焼表示が出ます。



- ゆらぎのシャワーは連続15分使用すると自動的にキャンセルされ、その後は3で設定した温度のお湯が出ます。またシャワー栓を開めるとゆらぎのシャワーは自動的に終了し表示画面のゆらぎの表示が消えます。



# 使用方法⑫ 暖房の使い方

放熱器や床暖房コントローラで操作します。

## △注意

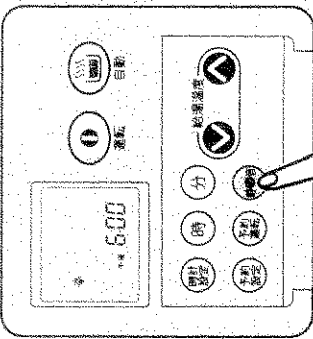
- 床暖房の上に電気カーペットをひかれないでください。床材の割れ、そり、降陥の原因となります。
- カーペット式床暖房の上に燃料などの液体を落としたり、刺したりしないでください。湯水ハダが破損します。
- バネ部とヒータの表面にさわらないでください。やけどの危険性があります。特に小さなお子様のいる家庭では注意が必要です。
- 床暖房の上部の温度に設定したまま、長時間、座ったり寝そべっていると低温やけどを起す心配があります。特に次のような方が使用する場合は、回りの人が注意してあげることが必要です。
  - ・ 乳幼児、お年寄り、病人など自分の意志で体を動かさない方
  - ・ 疲労の強いときや深酒をしたとき
  - ・ 皮膚の弱い方

暖房する部屋の放熱器や床暖房リモコンの運転スイッチを「入」にし、お好みの温度に調節します。

(放熱器(暖房)の取扱説明書もご覧ください)

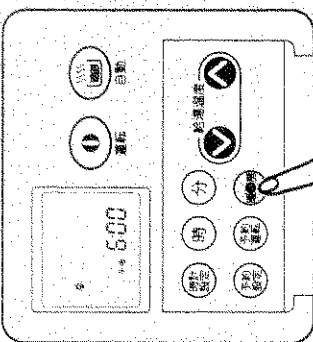
- 暖房運転中は表示画面に暖房燃焼表示(🔥)が点灯します。(時刻表示は台所リモコン設置時のみ)

### ■静音スイッチ付き台所リモコンの場合



- 暖房開始時の運転音を下げ、運転します。(このとき、暖房能力は少し低下します)
- 静音運転中は静音スイッチ中央の静音ランプ(赤)が点灯します。
- ※ 静音スイッチは運転スイッチの「入」「切」に関係なくはたせられます。
- ※ 通常、暖房開始時は最大能力運転となりますが、「静音」スイッチを押すことで暖房能力を少し低下させ、運転音を下げることができ

### ■暖房スイッチ付き台所リモコンの場合



- 放熱器や床暖房リモコンの運転スイッチの「入」「切」で機器の暖房運転ができません(Eコンタクトの放熱器でない)場合は、台所リモコンのフタの中にある暖房スイッチを「入」にしてから放熱器を操作してください。
- 暖房スイッチが「入」のときは、暖房スイッチ中央の暖房ランプ(赤)が点灯します。
- ※ 暖房スイッチは運転スイッチの「入」「切」に関係なくはたせられます。

# 冬期の凍結による破損防止について

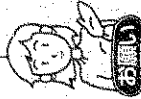
● 暖かい地域でお使いのお客様も必ずお読みください。

## △注意

- 冬期は暖かい地方でも、給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防止するために、次のような処置をお取りください。
- 外気温が極寒に低く(−15℃以下)な日や、それ以上の気温でも風の強い日は対策その①では凍結予防ができません。このような場合には、対策その②、その③の方法を行ってください。
- 凍結による破損の場合は、保証期間内でも有償修理となります。

### 暖房の凍結予防について

- 外気温が0℃近くまで下がってくると、自動的にポンプが運転し、暖房燃焼して暖房水を循環させて、凍結を予防します。(電源プラグをコンセントから抜かないでください)
- 「卒」スノーマークがある放熱器は運転つまみをスノーマークに合わせてください。
- 不凍液を入れる方法もあります。



## 対策その①

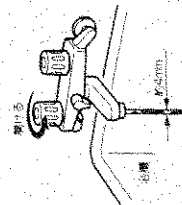
### 凍結予防ヒータと自動ポンプ運転による方法

- この機器には、外気温が下がると自動的に機器内を保温するヒータ(給湯機)と自動ポンプ運転装置(ふろ・暖房側)が組み込まれています。
- 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。抜いていると作動しませんのでご注意ください。
- 機器が外気温を感じ、自動的に作動します。このため寒冷時には、「浴槽の残り湯を捨てず、そのまま」にしておいてください。また、水位が循環アダプターより5cm以上、上にある状態にしておいてください。

## 対策その②

### 給湯栓から水を流す方法

- この場合は機器本体だけでなく、給水・給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。
- 浴槽の凍結予防のため
- ① リモコンの運転スイッチを「切」にします。
- ② ガス栓が全開になっていることを確認してください。(暖房の凍結予防のため)
- ③ おおむねの給湯栓を開け、1分間に約400ミリリットルの水を流してください。
- ※ この場合、浴槽から水があふれることがあります。
- ※ サーマカランやワンレバーの混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置にしてください。



## △注意

- 水漏れが不安定なことがあります。念のため、30分くらい後にもう一度水量をご確認ください。
- サーマカランやワンレバーの混合水栓の場合は、再使用時の設定温度にご注意ください。

# 冬期の凍結による破損防止について

# (暖かい地域でお使いのお客様も必ずお読みください)

## 対策その③

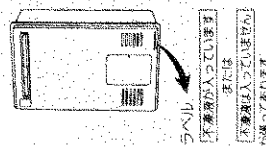
### 水抜きによる方法

● 機器内の水を抜き、凍結を予防する方法です。外気温が極端に低くなる場合は、この方法で行ってください。また、長期間にわたって機器を使用しないときも、必ずこの「水抜き」を行ってください。  
※ 給湯使用後は給湯器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷めてから行ってください。

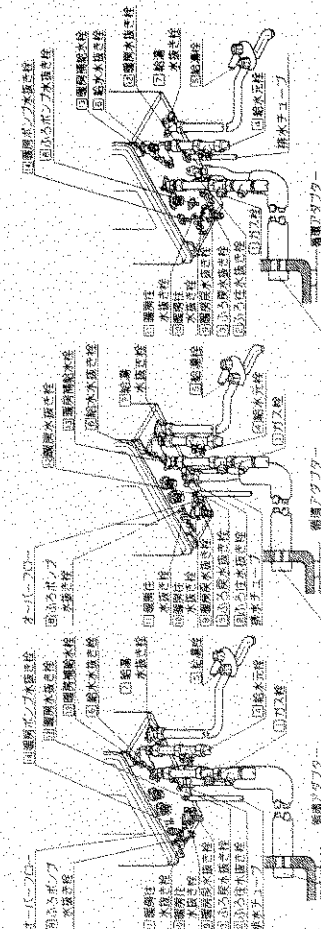
※ 暖房側の「水抜き」は不凍液が入っていない場合に、長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを抜く(分電盤の専用スイッチを「切」にする)と、機器が冷めてから行ってください。  
不凍液注入の有無はフロントカバー右下に張ってあるラベルで分かります。

### 給湯側・ふろ側で行います。

1. 給湯側の水抜き
  - ① ガス栓を閉めてください。
  - ② 給水元栓を閉めてください。
  - ③ 給湯制御をすべて(シャワーなどを含む)閉めてください。
  - ④ 給湯水抜き栓回、給湯水抜き栓回を開けてください。



HT-248・308シリーズのAWQ、SWQ、タイプおよび44-445シリーズの場合 HT-248・308シリーズおよび44-270・605シリーズの場合



### 2. ふろ側の水抜き

- ① ガス栓を開けてください。
- ② 給水元栓が閉まっていることを確認してください。(浴槽の排水栓を抜いてください)
- ③ 浴槽の水を排水してください。(浴槽の排水栓を抜いてください)
- ④ 浴室リモコンのお使いのスイッチを押して(「入」にする)、浴槽の循環アダプターから水(お湯)が出てくることを確認してください。
- ⑤ 排水が止まった後再びお使いのスイッチを押して(「切」にする)してください。  
※ 排水運転のまま数分間放置すると表示画面に故障表示が点滅する場合がありますが、異常ではありません。



### 暖房側の水抜き

※ 暖房側の「水抜き」は不凍液が入っていない場合に、長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを抜く(分電盤の専用スイッチを「切」にする)ときのみ行ってください。  
不凍液注入の有無はフロントカバー右下に張ってあるラベルで分かります。

- ① ガス栓が閉まっていることを確認してください。
- ② 給水元栓が閉まっていることを確認してください。
- ③ 暖房水抜き栓回を開けてください。
- ④ 排水が止まった後、排水チューブを暖房水抜き栓回、(例、H および暖房ポンプ水抜き栓回 (HはHT-248・308シリーズのAWQ、SWQ、AQ、SQタイプ以外)に付けかえて水抜き栓を開けてください。

※ リモコン表示画面に故障表示が点滅しますが異常ではありません。  
※ 電源プラグを抜いてください。(分電盤の専用スイッチを「切」にしてください)

### 「水抜き」をした機器を、次に使うときは...

#### 1. 機器給湯側に通水してください。

- ① 給湯制御をすべて(シャワーなどを含む)閉めてください。
- ② 給湯水抜き栓回、給湯水抜き栓回を開けてください。
- ③ 給湯水元栓を全開にしてください。
- ④ 給湯制御を開けて通水を確認した後、給湯栓回を開けてください。



再度使う場合の(通水)は、給湯側から行ってください。

#### 2. 機器ふろ側に通水してください。

- ① ふろ水抜き栓回、ふろ水抜き栓回、ポンプ水抜き栓回をすべて閉めてください。
- ② 暖房水抜き栓回、(例、H および暖房ポンプ水抜き栓回 (HはHT-248・308シリーズのAWQ、SWQ、AQ、SQタイプ以外)をすべて閉めてください。
- ③ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。(分電盤の専用スイッチを「入」にしてください)
- ④ ガス栓を全開にしてください。
- ⑤ リモコンの自動スイッチを押す(「入」にする)と自動的に注水されます。

※ 表示画面に給湯熱源表示が点灯し、浴槽の循環アダプターからお湯が出ることを確認してください。

#### 6. もう一度自動スイッチを押す(「切」にする)と、湯はりを中止します。

※ 通水後初めて暖房、自動、おいたきを使用する場合はリモコンの表示画面に故障表示「S4」が点滅する場合は暖房水抜き栓が開まっていることを確認し電源を一旦「切」にした後再度「入」にしてください。

# 点検・お手入れのしかた

## 点検・お手入れの際は、次のことにご注意ください。

- 安全にお使いいただくために、こまめに点検・お手入れを行ってください。
- お手入れは、必ず・ガス栓を閉め・電源プラグを抜き・機器が冷えてから行ってください。
- フロントカバーなどは決してはずさないでください。

## 点検…次のことにご注意ください。

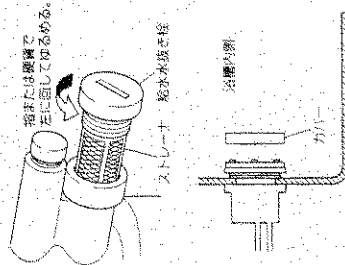
- 運転中に機器から異常音が出ませんか？
  - 機器の外観に異常は見られませんか？
  - 機器のまわり、および排気口・排気トップのそばに燃えやすいものはありますか？
  - 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルタ（金網）を掃除してください。
  - 機器本体には安全に関する注意ラベルが張ってあります。汚れたり、読めなくなったりしたときはやわらかい布などで汚れを拭き取ってください。また、お手入れの際にははかれないようご注意ください。もしはかれたり読めなくなったりした場合は、新しいラベルに張り替えてください。ラベルは販売店でお求めください。
  - 使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご利用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。
- ※定期点検を受ける先が不明の場合や、点検費用などについてはお買い上げの販売店または、もよりのガス会社へお問い合わせください。



水圧の低い地域では、泡沫器や浄水器を使用しないでください。  
お湯の量が少なくなります。

## お手入れ方法は、

- 機器やリモコンの表面が汚れたときは、水に濡らしたやわらかい布を軽く拭き取ってください。
- 洗剤、およびシンナー、ベンジンは使わないでください。
- 給湯栓先端のストレーナーにゴミなどが付いているとお湯の量が少なくなります。こんなときは給湯栓を閉めてから給湯栓を拭き取り、ストレーナーに付いているゴミを取り除いてください。特に近くで水道配管工事などがあつたときはご注意ください。
- 必ず給湯栓を閉めてから行ってください。
- 給湯栓の給気口（プロントカバー）がほこりやゴミで詰まったらそのまま使用すると、不完全燃焼などの原因となります。給気口のほこりやゴミを十分に取り除いてご使用ください。
- 循環アタプターのお手入れは、循環アタプターのカバーをはずし、月1回以上掃除してください。カバーは手ではずせません。



# 故障！とお考えになる前に

故障かな？と思ってもよく調べてみると故障ではない場合もあります。修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。

## 次のことを調べてください

こんなとき	ココをチェック
表示画面が点灯しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 停電していませんか。
故障表示が点滅する	運転スイッチを「切」にし、約3秒後、もう一度「入」にしてください。それでも点滅するときは故障ですので、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。
「自動スイッチ」を押しても動かない。	給湯栓が全開になっていますか。 断水していませんか。
湯はわり時間が長くなる	お風呂の排水栓はしっかりはまっていますか。 （湯はわり中に給湯を使用すると、給湯中は湯はわりが停止します）
「給湯燃焼表示」が点灯しない	ガス栓が全開になっていますか。 給湯栓が全開になっていますか。
お湯が出ない	断水していませんか。 給湯栓が十分開いていますか。
高温のお湯が出ない	給湯調節は適切ですか。
低温のお湯が出ない	混合水栓やサーモミキシングバルブをお使いの場合は、リモコンの給湯温度を60℃に設定してください。
湯温が変動して安定しない	ゆらぎのシャワーになっていませんか。（114ページ参照） 運転スイッチを「切」にしてスムーズに通水することを確かめた後、給湯栓を閉め、約20秒後に再操作してください。それでも異常のときは故障（水質制御装置）ですので、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。
「ふる燃焼表示」が点灯しない	ガス栓が全開になっていますか。 浴槽に水が入っていますか。
お風呂使用中に消火した	ガス栓が全開になっていますか。
浴槽の水があつい（ぬるい）	ふる温度の設定は適切ですか。（108ページ参照）
浴槽の水が少ない（多い）	湯はわり（水位）の設定は適切ですか。（109ページ参照） （浴槽の残り湯が循環アタプターより下にある状態で自動運転をした場合、水位が高めになることがあります）
「暖房燃焼表示」が点灯しない	ガス栓が全開になっていますか。

# 故障！とお考えになる前に

ご使用の機種は故障ではありません。

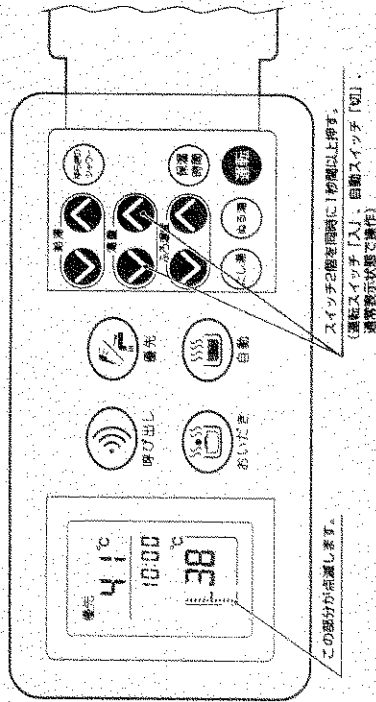
こんなとき	理由	由
給湯栓を絞らずに水になった	この機器は通水量が毎分2リットル以下になったときには消火します。	
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いとき低温のお湯を少量得ようとするときは湯温が高くなります。給湯栓をちょっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。	
ゆらぎのシャワーがでない	夏期などは、給水温が高くゆらぎのシャワーの効果が得られないため、機器が自動的にゆらぎのシャワー運転を停止させるためです。また、配管が長い場合は湯量が少なくなることがあります。	
ゆらぎのシャワーのお湯がゆらぎながら出ない	これは水中に逃げ込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダーなどの泡と似た現象であり、汚濁とは違ってまったく無害なものです。	
お湯が白く濁って見える	外気温が低いときには燃焼排ガス中の水蒸気が白煙に見えますが、故障ではありません。	
寒い日給排気トップから白煙が出る	凍結による破損防止のため、凍結予防運転を行います。	
冬期など寒いときお湯の出る量が減る	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。	
給湯栓を開いてもお湯が出ない	再使用時の点火をより早くするため出湯停止後もしばらく回転しています。	
出湯停止後しばらくファンの回転音がする	浴槽に正確に湯はりをするための調欠運転を行っているためです。(はじめはお使いになるときは、自動運転の水位を確認するために調欠運転を行います)	
自動運転の途中で燃焼を中断する	お湯の呼び水のため約6リットルのお湯をはるためです。浴槽にお湯(水)がない場合やお湯に空気が溜っていた場合に起こります。	
お湯の途中でお湯が点灯する	お湯の途中でお湯が点灯する場合は、お湯の温度が下がったためです。お湯の温度が下がるとお湯が点灯します。	
運転終了後しばらくポンプが回る	運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。	
時刻表示が「入」になっている(台所リモコン設置時のみ)	停電後、再通電すると表示画面の時刻表示が「入」になります。再度設定しなおしてください。(106ページ以降参照)	
表示画面の表示が乱れる	リモコンを乾いた布で拭いた場合、表示が乱れることがあります。この場合放置(30分以上)しておくと正常に戻ります。	
保温中ときどきポンプが回る	浴槽のお湯の温度を検知するためときどき回ります。	

※以上のごことをお調べの際は、なお異常のあるときはお買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

増・改築などで浴槽を買い替えた場合や機器の設置場所を移動した場合は、新しい浴槽サイズなどを機器に記憶させる必要があります(全自動タイプのみ)。下記手順に従って記憶内容の消去および自動運転の試運転を行ってください。

## 1. 現在記憶している記憶内容を消去してください。

浴室リモコンの運転スイッチを「入」にして表示画面を点灯させてから下図の2つのスイッチを同時に1秒以上押し続けてください。



※電源プラグをコンセントから抜くだけでは、記憶内容の消去はできません。

## 2. 浴槽の残り湯をすべて排水してください。

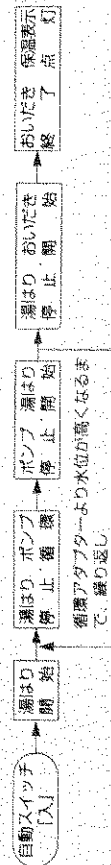
浴槽にお湯が残った状態で以下の操作を行うと、その後湯はり時間が長くなったり、低い水位設定時に機器が作動しないなどの不具合が生じることがあります。

## 3. 排水栓をしっかりと閉めてください。

## 4. 自動スイッチを押す(「入」にする)と自動湯はり開始されます。

運転中に浴槽には、給湯栓からお湯を入れなくてください。運転中何回か停止しますが異常ではありません。

### 自動運転の動き(例)



試運転の終了まで、20~30分かかります。

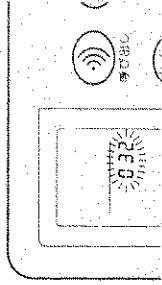
## 5. 試運転が完了し、浴槽サイズと水位とを記憶しました。

# 故障！とお考えになる前に

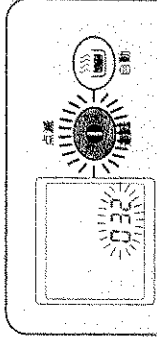
機器が故障するとリモコン表示画面の時列表示部に下図のような故障表示が点滅します。故障表示が点滅した場合はガス栓と給水元栓が十分開けてあるか確認してからもう一度操作してください。

- 再操作しても故障表示が点滅するときや下図以外の数字が点滅するときは、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へ修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。

浴室リモコン



台所リモコン・増設リモコン



故障表示	使用状態	報告状態	故障表示	使用状態	報告状態
032	故障 点滅	故障 点滅	190	故障 点滅	632
111	故障 点滅	故障 点滅	252	故障 点滅	710
113	故障 点滅	故障 点滅	310	故障 点滅	721
121	故障 点滅	故障 点滅	312	故障 点滅	723
123	故障 点滅	故障 点滅	313	故障 点滅	901
140	故障 点滅	故障 点滅	321	故障 点滅	991
161	故障 点滅	故障 点滅	322	故障 点滅	
173	故障 点滅	故障 点滅	323	故障 点滅	
101	故障 点滅	故障 点滅	432	故障 点滅	

故障表示	使用状態	報告状態	故障表示	使用状態	報告状態
433	故障 点滅	故障 点滅	521	故障 点滅	611
502	故障 点滅	故障 点滅	523	故障 点滅	613
521	故障 点滅	故障 点滅	543	故障 点滅	
523	故障 点滅	故障 点滅			
543	故障 点滅	故障 点滅			
611	故障 点滅	故障 点滅			
613	故障 点滅	故障 点滅			

故障表示	使用状態	報告状態
632	故障 点滅	故障 点滅
710	故障 点滅	故障 点滅
721	故障 点滅	故障 点滅
723	故障 点滅	故障 点滅
901	故障 点滅	故障 点滅
991	故障 点滅	故障 点滅

④1を表示しているときは、お湯を熱くすることはできませんが、給湯器異常による十分な給湯能力が出ない状態での湯、湯がつかない状態（お湯）以上の湯、湯量不足などのガス会社に連絡ください。

# 長期間使用しない場合は

■ 長期間ご使用にならない場合は次のことを行ってください。

1. ガス栓を開めます。  
 機器の下部
2. 給水元栓を開めます。  
 機器の下部
3. 機器の水抜きをします。  
(115ページ参照)  
 機器の下部
4. 電源プラグを抜きます。  
(分電盤の専用スイッチを「切」にしてください)  
 機器の下部

番号	マニュアル名称	発行日	番号	マニュアル名称	発行日
B-31	給湯暖房用熱源機 HT-246RSA-AW <sub>2</sub> Q HT-246RSA-AWQ HT-246RSA-AQ	H8.12	B-43	給湯暖房用熱源機 HT-305RA-SW <sub>2</sub> HT-305RA-S	H9.4
B-32	暖房専用熱源機 DS-106RSA-W <sub>2</sub> DS-156RSA-W <sub>2</sub> DS-206RSA-W <sub>2</sub> H	H8.12	B-44	給湯暖房用熱源機 FT-246RA-AW <sub>2</sub> Q <sub>2</sub> FT-246RA-AQ <sub>2</sub>	H9.4
B-33	給湯暖房用熱源機 AD-246RA-Q AD-246FA-Q	H8.12	B-45	暖房専用熱源機 FS-107RSA-W <sub>7</sub>	H10.3
B-34	給湯暖房用熱源機 FT-366RSA-AW <sub>2</sub> Q FT-366RSA-AWQ FT-366RSA-AQ	H8.12	B-46	給湯暖房用熱源機 HT-248RSA-AW <sub>3</sub> Q HT-248RSA-AWQ HT-248RSA-AQ	H10.9
B-35	給湯暖房用熱源機 FT-246RSA-AW <sub>2</sub> Q FT-246RSA-AWQ	H8.12	B-47	給湯暖房用熱源機 HT-368RSA-AW <sub>5</sub> Q HT-368RSA-AW <sub>3</sub> Q HT-368RSA-AWQ HT-368RSA-AQ	H10.9
B-36	給湯暖房用熱源機 AT-366RSA-AW <sub>2</sub> Q AT-366RSA-AQ	H8.12	B-48	給湯暖房用熱源機 XT-368RSA-AWQ XT-248RSA-AWQ	H10.9
B-37	給湯暖房用熱源機 AT-246RSA-AW <sub>2</sub> Q AT-246RSA-AQ	H9.4	B-49	給湯暖房用熱源機 FT-248RSA-AQ FT-248RSA-AWQ FT-248RSA-AW <sub>6</sub> Q FT-368RSA-AQ FT-368RSA-AWQ FT-368RSA-AW <sub>6</sub> Q	H10.9
B-38	給湯暖房用熱源機 XT-366RSA-AWQ XT-246RSA-AWQ	H9.4	B-50	暖房専用熱源機 DS-107RSA-W <sub>6</sub> DS-207RSA-W <sub>6</sub> DS-207RSA-W <sub>6</sub> H	H10.9
B-39	給湯暖房用熱源機 HT-366RSB-AW <sub>2</sub> Q HT-366RSB-AWQ	H9.4	B-51	給湯暖房用熱源機 HT-368RSA-SW <sub>5</sub> Q HT-368RSA-SW <sub>3</sub> Q HT-368RSA-SWQ HT-368RSA-SQ	H11.3
B-40	給湯暖房用熱源機 HD-306RA-Q	H8.12			
B-41	給湯暖房用熱源機 AT-247RA-AQ AT-247FA-AQ	H9.4			
B-42	暖房専用熱源機 DS-055RA-F <sub>2</sub> H	H8.12			



# マニュアル一覧表

## ●熱源機

番号	マニュアル名称	発行日	番号	マニュアル名称	発行日
B-1	暖房専用機 DS-101RFA-W	H3.7	B-16	給湯暖房用熱源機(16号) BD-244RA	H5.12
B-2	気泡機能付風呂追焚付暖房給湯器 AT-361RFA-ALB	H3.12	B-17	給湯暖房用熱源機(24号) FT-364RA-AWQ他	H6.4
B-3	気泡機能付風呂追焚付暖房給湯器 AT-241RFA-ALB	H4.1	B-18	給湯暖房用熱源機(16号) FT-244RA-AQ他	H6.4
B-4	ふろ追焚付暖房給湯器 AT-241RFA-AL	H4.1	B-19	給湯暖房用熱源機(16号) AD-243RFA(FFA)	H6.4
B-5	暖房給湯器 AD-200FFA	H4.1	B-20	暖房専用熱源機 XS-034RA-F	H6.6
B-6	暖房専用機 FS-091・151RFA	H4.1	B-21	給湯暖房用熱源機(排気パリアージョン) FT-244RA-AQ FT-364RA-AWQ	H6.10
B-7	給湯暖房用熱源機(16号・2温度) DT-241RFA-AWL	H4.6	B-22	給湯暖房用熱源機(16号) AT-245RA-SW <sub>2</sub> (2温度) AT-245RA-S(1温度)	H7.4
B-8	給湯暖房用熱源機(16号) ID-240RFA	H4.7	B-23	給湯暖房用熱源機(16号) HT-245RA-SW <sub>2</sub> (2温度) HT-245RA-S(1温度)	H7.4
B-9	給湯暖房用熱源機 (24号・2温度・気泡付) AT-361RFA-AWL B	H4.7	B-24	暖房専用熱源機 DS-054RA-FH	H7.4
B-10	給湯暖房用熱源機(16号) DD-242RFA	H4.8	B-25	給湯暖房用熱源機(20号) HT-305RA-S	H7.6
B-11	暖房用熱源機 DS-072RFA-W	H4.10	B-26	給湯暖房用熱源機(20号) XT-305RA-S	H7.8
B-12	暖房用熱源機 DS-201RFA-WH	H4.10	B-27	給湯暖房用熱源機 HT-245RA-AW <sub>2</sub> Q <sub>2</sub> HT-245RA-AQ <sub>2</sub>	H7.8
B-13	給湯暖房用熱源機(24号) HT-362RFA-AQ	H5.2	B-28	給湯暖房用熱源機 AT-245RA-AW <sub>2</sub> Q <sub>2</sub> AT-245RA-AQ <sub>2</sub>	H8.3
B-14	給湯暖房用熱源機(24号) XT-363RFA-AQB	H5.4	B-29	給湯暖房用熱源機 DT-245RA-AW <sub>2</sub> Q <sub>2</sub> DT-245RA-AQ <sub>2</sub>	H8.3
B-15	給湯暖房用熱源機(16号) BD-243RFA-JL	H5.12	B-30	給湯暖房用熱源機 HT-366RSA-AW <sub>2</sub> Q HT-366RSA-AWQ HT-366RSA-AQ	H8.10